



東北大学

第144回

東北大学

金属材料研究所 講演会

日時 **2023/5/30** (火)

場所 **金属材料研究所2号館講堂**

※聴講無料、オンライン配信あり、事前申し込み不要
(現地参加は所内の方限定とさせていただきます)

午前 9:30~12:00

9:30~9:40 所長挨拶 所長 佐々木 孝彦

一般講演(所内教員)



9:40~10:20
分子スポンジ物性制御
教授 宮坂 等



10:20~11:00
界面-合金元素間の
相互作用解明と
鉄鋼高強度化への応用
准教授 宮本 吾郎



11:00~11:40
対称性の破れた物質における
非相反性とトポロジカル機能
准教授 新居 陽一

11:40~12:00 所内表彰式

午後 13:30~19:00

特別講演

13:30~14:40
ナノマテリアルとそのデバイスによる物理と機能の開拓

東京大学 大学院工学系研究科物理工学専攻 教授
理化学研究所 創発物性科学研究センター チームリーダー 岩佐 義宏

前世紀の電子デバイス研究は、ごく限られた材料に特化して行われてきましたが、今世紀になるとその対象がきわめて多彩な物質群に広がるとともに、応用だけでなく新物性の探索や電子状態・構造の制御など、基礎物質科学に大きな影響を及ぼすようになりました。近年、発展が目覚ましい2次元ファンデルワールス物質を対象とした研究について紹介します。

1986年東京大学 大学院工学系研究科 物理工学専門課程博士課程修了。1994年北陸先端科学技術大学院大学 材料科学研究科助教授、2001年東北大学 金属材料研究所教授、2010年東京大学大学院 工学系研究科附属量子相エレクトロニクス研究センター教授、センター長を経て現職。2022年東北大学名誉教授。2次元物質などナノマテリアルの物性研究に従事。



14:50~16:00
自然科学の眼で見た文化財-金属文化財を中心に
元東京藝術大学 教授 桐野 文良

文化財の用いられた材料や制作技法を解明し、保存や修復をおこない後世に伝えていく。その場合、材料調査は非破壊でかつ非接触で行うために分析手法に限られる。本講演では文化財を自然科学の眼で見ると題してこれまでの手法と成果について紹介する。

1981年3月 東京工業大学大学院総合理工学系研究科電子化学専攻修士課程修了。1981年4月(株)日立製作所中央研究所。1993年3月 博士(工学) 東北大学。1999年2月日立マクセル(株)開発本部。2000年10月 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻。2023年3月 同大定年退職。博士(工学)、技術士(金属、応用理学)。企業の研究所では情報記録材料の実用化の研究、大学では美術工芸材料の中の金属や無機の材料を用いた文化財の保存や制作技法の研究をおこなってきた。



ポスターセッション

16:15~17:45 ディスカッション

18:15~19:00 表彰式

参加・聴講方法の
詳細はこちらから

金研講演会 検索



お問い合わせ先

金属材料研究所 情報企画室 広報班
TEL 022-215-2144 URL <http://www.imr.tohoku.ac.jp/>
E-MAIL k.kouen.imr@grp.tohoku.ac.jp